

みんなで続けてきた手厚い学校支援活動の取組み

大阪府立富田林支援学校

■ 取組みのあらまし

1. 実施場所

- 校庭内外花壇、図書室

2. 実施日等

- 活動により月1～4回

3. 活動内容

- 花壇整備
- ベルマーク・テトラパック集計
- 読み聞かせ、ヘルマンハーブ演奏



★地域ボランティアさんによる手厚い学校支援活動★

富田林支援学校では、コーディネーターさんが中心となってボランティアさんと共に、毎月1回、ベルマーク集計作業や花壇整備を行っています。さらに、週に1回、図書室で支援学校の子もたちに読み聞かせをしています。ヘルマンハーブの演奏も行われます。以上の取組みは長年継続して取り組まれています。

読み聞かせは、昼休みの図書室開放の時間(毎週木曜日)に行われ、高等部の図書担当による開始のお知らせの放送があった後、参加したい子どもたちが集まってきます。

富田林支援学校に行ってきました！



花壇の整備では、四季折々の植物を植えています。この日は、皇帝ダリアが立派に花を咲かせていました。

たくさん集まったベルマークを一枚一枚丁寧に切って集計します。



花壇整備

学校内外の花壇の整備に加え、学校の看板も学校支援のボランティアさんが作成し、小学校部の校庭前の花壇に設置されています。地域の評判も良いとのこと。

ベルマーク集計・図書室開放

毎月1回、10人程度集まり、ベルマーク集計をしています。PTAの役員の仕事を終えて参加される方も数名います。図書室開放では、ベルマーク集計とは違う方が読み聞かせやヘルマンハーブの演奏等を担当しています。

学校支援活動継続の工夫

1人のコーディネーターさんが長年関わっておられ、学校支援活動(花壇整備、ベルマーク集計、図書室開放)について年間で計画を立てて取り組み、それぞれの活動ごとにその都度、ボランティアを募集しています。



図書室開放では、ヘルマンハーブの演奏や手遊びや民話の語り、絵本の読み聞かせが行われました。